

あわら 市議会だより



第74号

令和4年11月15日 発行

パブリックコメント募集!! 議員と語りつ会を再開!!



ああ、あわら贅沢。
議会にはないぜいたくがあるまち



議会の様子がインターネットで視聴できます。

あわら市議会 YouTube

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

9月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	5p
請願・陳情・意見書等	10p
編集後記	10p
議案と結果	11p
パブリックコメント募集	12p

9月定例会

令和4年度一般会計補正予算(第3号)

3億6,802万3千円を増額

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

2億1,600万円を増額

- 令和4年度一般会計予算総額は169億2,550万7千円に
- 令和3年度各会計の決算を認定
- 道の駅蓮如の里あわら条例の制定
- 芦原温泉駅西口賑わい施設条例の制定
- 公の施設の指定管理者の指定(道の駅蓮如の里あわら)
- 人権擁護委員 こはまひろのり 小濱 弘範 氏の推薦に同意

令和4年9月定例会が8月30日から10月12日までの会期で開催されました。今回の定例会では、令和3年度の各会計決算の認定等に関するもの9議案、補正予算に関するもの4議案、条例の制定に関するもの5議案、公の施設の指定管理者の指定に関するもの1議案、字の区域の変更に関するもの1議案、人事に関するもの1議案の計21議案が上程され、すべて原案のとおり認定・可決されました。

なお、今回は11人の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、議員発議による意見書の提出に関するもの1議案を可決し、陳情1件を採択としました。

議員と語ろう会を12会場で開催します

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議員と語ろう会を開催します。今回は、定例会の審議内容について報告させていただき、そのあと意見交換を行います。いずれの会場でもお気軽にご参加ください。

日時	11月24日(木) 19:30~21:00	11月25日(金) 19:30~21:00	11月28日(月) 19:30~21:00
会場	中浜区民館	中央公民館	伊井公民館
	北潟公民館	細呂木公民館	吉崎公民館
	波松区民館	湯のまち公民館	坪江公民館
	劔岳公民館	金津本陣IKOSSA	本荘公民館

予算決算常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

令和4年度
一般会計補正予算

■市民協働課

ふるさと納税

ポータルサイト広告料

236万2千円増額

委員ポータルサイトの広告のみではなく、坂井市は、東京のアンテナショップを利用し、その場所でのふるさと納税を伸ばしている。あわら市でも坂井市のような取り組みを行う考えはないのか。
理事者 アンテナショップを利用した取り組みは一度検討してみますが、今は、あわら市独自のゴルフ場や温泉旅館で利用できる電子感謝券に注力し、ふるさと納税を伸ばしていきます。

■市民課

コンビニ交付

事務委託料

29万円増額

委員 マイナンバーカードの若年層の交付状況はどうなっているのか。
理事者 16歳から18歳の年齢層は44.13%まで上がっており、13歳から15歳はまだ4割弱となっていますが、少しずつ交付率が上がっています。



■福祉課

生活保護費

国庫負担金返還金

3千468万6千円

増額

委員 令和3年度実績に

基づき、各種事業の返還金を予算計上している

が、市は積算を行い国へ負担金を請求していると思う。支援を受けなかった人がいるため多額の返還金が発生しているのか。

理事者 すべての事業において、不足が発生しないよう、考えられる最大の見積りで国・県に申請を行っています。そのため返還金が発生しています。

■観光振興課

北陸新幹線開業対策

事業委託業務

2千万円増額

委員 あわら温泉湯のまち広場の芝生上にプロジェクションマッピングを行う本事業において、「投影機材の購入・設置に関する業務」と「映像コンテンツ制作に関する業務」を分離して発注すべきでないのか。

理事者 投影機材と映像コンテンツを分離して発注することを原則として

事業を進めていきたいと考えています。



■商工労働課

電子クーポン

発行事業

2千万円増額

委員 高齢者にとって電子クーポンは全く使えないとの話を多く聞いているため、紙媒体によるプレミアム付商品券の発行を検討できないか。
理事者 プレミアム付商品券を実施したとき、電

子クーポンを実施できないかとの意見があったため、高齢者にも使ってもらえるよう、前もって公民館において電子クーポンの取得方法や使用方法の講習会を実施することを決め、電子クーポンを採用しました。

また、今回の電子クーポン発行事業は市内の小規模事業者を支援することを目的としているため、大型量販店等に集中することなく幅広い店舗で利用されると考えています。



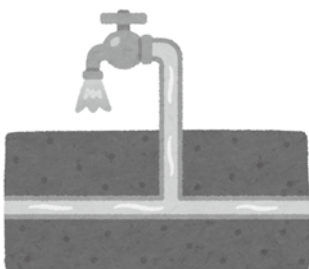
令和4年度
あわら市水道事業
会計補正予算

下番配水管

敷設替工事

260万円増額

委員 敷設から40年以上経過している配水管は他にも多くあるのか。
理事者 集落の中などは下水道と同時に配水管の敷設替えしていますが、下水道に関連しない場所では40年以上経過している配水管があります。



総務厚生常任委員会

あわら市議会議員及びあわら市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用自動車の使用、ピラ、ポスターの作成に係る候補者一人当たりの公営費（公費負担）の単価限度額の改正を行うものです。

あわら市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、育児休業の取得回数や非常勤職員の取得要件の緩和等の改正を行うものです。

あわら市過疎地域の持続的発展に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、過疎地域として指定された区域（旧芦原町全域）において、製造業、旅館業、農林水産物等販売業などの用に供する一定規模以上の設備を取得した場合、その設備に係る固定資産税の課税免除に関し、必要な事項を定めるものです。

道の駅蓮如の里あわら条例の制定

道の駅蓮如の里あわらを公の施設として、利用に供するための条例を制定するものです。

公の施設の指定管理者の指定について

道の駅蓮如の里あわらの指定管理者として、アワンテック合同会社を指定するものです。



整備の進む道の駅

産業建設教育常任委員会

芦原温泉駅西口賑わい施設条例の制定

芦原温泉駅西口賑わい施設を公の施設として利用するために、「芦原温泉駅西口賑わい施設条例」の制定を行うものです。

よって、価格を変動させるダイナミックプライシング制度を導入する考えはあるのか。

理事者 芦原温泉駅西口賑わい施設に行けば、何らかのイベントが行われている状態を目標にしていることから、ダイナミックプライシング制度の導入を検討しています。

字の区域の変更

国土調査法に基づく地籍調査事業及び団体営土地改良事業に伴い、あわら市柵地係及び樋山地係の字の区域の変更を行うものです。

知ってる？ みんなさん

ちょっと役立つ豆知識

政治家のルール

～ 募金活動 ～

政治家が募金をする際、募金先の事務所等が自分の選挙区内にある場合は、寄附に該当します。

例えば、赤い羽根共同募金などで、募金を取りまとめている本部・支部が選挙区内にある場合は、募金できません。

また、配偶者など他人名義であっても、実質的に候補者等が寄附するものである限り禁止されています。



・市職員の採用と人材育成について

木下 近年の職員採用試験の応募・採用状況及び応募・採用した職員の市内外在住者の内訳はどうか。

また、職員には研修を受ける機会を与えるとなっているが、研修を実施しているのか。

総務部長 令和元年度は、応募者が110人、採用者が21人、令和2年度は、応募者が99人、採用者が11人、令和3年度は、応募者が132人、採用者が14人となっています。

採用した職員の市内外在住者は、過去3年間では約半数が市内在住者となっています。

職員の研修受講は、人材育成基本方針に基づき、取り組んでいます。

木下 市外から採用された職員に対し、あわら市に住んでもらうように働きかけを行っているのか。

総務部長 採用試験や新人研修など、折に触れ要請しています。



木下 定員管理計画で示されている令和4年4月1日での職員数と現在の職員数とではどれくらい乖離があるのか。

現在の職員数とではどれくらい乖離があるのか。

木下 勇二 議員



総務部長 10人増となっていますが、これは計画策定以降、新たな行政需要や行政課題へ対応するため増員を行ったものです。

木下 障がい者雇用を継続的に進めることが重要であり、積極的に取り組んでほしいと考えているがどうなっているのか。
総務部長 法定雇用率を上回っており、引き続き障がい者の方が働きやすい環境の整備に努めてまいります。

木下 若手職員の積極的な役付登用が必要であると考えているがどうか。

総務部長 勤務評価制度を用いた個人の能力や業績評価の結果などを勘案して昇格を行っております。

・賑わい施設

「アフレア」の管理運営について

吉田 北陸新幹線芦原温泉駅開業により、首都圏や外国からの来訪者の増加が予想され、様々な観光客のニーズに対応した、きめ細かいサービスの提供が急務である。よって、商品企画・開発・販売力、知識力、コミュニケーション能力を備えた観光コンシェルジュの育成が重要である。

また、エリア観光を担う観光ガイドや語り部はいるものの、人数が少ない。また、市民ガイドの人材や任意団体は存在しているが、全市として体制が構築されていない。北陸新幹線芦原温泉駅開業を見据えた観光コンシェルジュや市民ガイドの育成及びこれら

を結び付けた観光案内ネットワークの構築が急務である。

観光コンシェルジュ育成事業、観光案内等の準備打ち合わせや、駅周辺団体等との連携は既に済んでいるのか。

経済産業部長 令和元年度より毎年、観光コンシェルジュ育成事業を予算化し、英会話講座や市内外の観光地視察研修を通して、案内所スタッフの資質とスキルアップを図ることで、新幹線開業に向けた準備を進めています。

また駅周辺の団体等の連携については、アフレアが、市民に親しまれ、市民と観光客が集い、ともに憩える施設として活性化するための検討を

吉田 太一 議員



行う（仮称）アフレア活性化委員会を今年10月に設立し、強固に進めていきたいと考えています。

吉田 アフレア活性化委員会の委員については、地元の新富繁栄会、金津まちなか創成会、商工会、文化協議会、観光協会、旅館組合、J.A.市民団体など、約15名の代表者を予定しているとのことだが、この組織は大変重要な委員会である。実働部隊であり、それぞれの意見を集約し、しっかりと機能することが大事だと思う。アフレアがオープンしてから、新幹線開通まで約1年ある。この間しっかりと見させていただく。

・金津創作の森

美術館について

・災害協定について

金津創作の森美術館について

堀田 金津創作の森の観光資源としての存在感を高める対策、あわら温泉との連携、事業収益を上げるための対策についてどう考えているか。

教育長 金津創作の森がこれまで扱ったことのない食を切り口とした発酵展を開催し、これまで芸術に関心のなかった層までの幅広い支持が得られる機会になると期待しています。

また、あわら温泉を利用したツアー商品の開発に取り組んだり、クラウドファンディングによる独自の資金調達や積極的に販売活動を展開したりし、収益確保に努め

ています。

堀田 入居作家について、文化芸術のジャンルを広げていく考えはあるか。

教育部長 入居作家の創作活動にジャンルの制限はありません。いろいろなジャンルの作家の方に入居していただくためには、入居しやすい体制作りを整えていく必要があると考えています。



災害協定について

堀田 あわら市は11種類39件の災害協定を結んでいるが、不足を感じ

堀田あけみ 議員



ている部分はあるか。

総務部長 災害時に大量に発生する廃棄物の円滑な処理を進めるため、新たな協定を結ぶ必要性を感じていますので、協定締結に向け検討を進めていきたいと考えています。

堀田 災害発生時のスムーズな受け入れ態勢や応援協定を結んでいく企業を取りまとめる体制はどのようになっているか。

総務部長 あわら市受援計画により、災害発生時に外部からの応援や支援を最大限活用できるように受け入れ態勢の確保と、業務を遂行できるように企業を取りまとめる体制の確保に努めて参ります。

・地域スポーツの

振興について

北浦 市スポーツ協会、特に支部活動の役割をどう考えているか。

教育部長 地域のコミュニケーションづくりと健康増進、地域力の向上など、大変重要な組織であると認識しています。

北浦 スポーツ協会17支部の活動に対しどのような支援を行っているか。

教育部長 スポーツ推進委員の派遣やニュースポーツ体験会の開催、また市スポーツ協会では各支部の活動を支援する育成費を交付しています。

北浦 さらに多くの市民が参加するイベントを目指し、市民体育祭をどうリニューアルしていくのか。

教育部長 市民体育祭の成果や課題を整理し、スポーツ推進審議会において、今後の在り方について検討していただきたいと考えています。

北浦 見直しを行う際には、地区区長会や各支部代表の方の意見を反映させる必要があると思うがどうか。

教育部長 幅広く区長や支部長からご意見を聞くようにしていきたいと考えています。

北浦 生涯スポーツに関する独自の市民アンケートの実施状況はどうなっているか。

教育部長 独自の市民アンケートは実施していませんが、今後、実施する際には、区長や各支部、競技団体等の関係団

北浦博憲 議員



体を含め、広く調査を行いたいと考えています。

北浦 さらに生涯スポーツ推進のまちを指し、あわら市スポーツ推進計画策定の検討を進めてはどうか。

教育部長 今後の各支部の意見の聴取を踏まえ、アンケート実施の検討に併せ、総合的に検討していきたいと考えています。

北浦 生涯スポーツの推進について市長の考えはどうか。

市長 市民がスポーツを通してやりがいや楽しさを感じ、誰もが元気で生き生きと暮らすことができるようになれば、持続可能な活力あるまちづくりにつながると考えています。

・越前加賀宗教文化街道(祈りの道)協議会での事業検証について

・道の駅「蓮如の里あわら」の指定管理について

越前加賀宗教文化街道(祈りの道)協議会

館」の来館者数も少ないので、来年度に開設する道の駅との連携を図るべきである。

島田 平成23年10月から約5年間に及びあわら市を含む4市1町で実施した「祈りの道協議会事業」は、吉崎御坊を中心とした蓮如の里にスポットをあて、多様な事業をしてきたが、その事業成果は現在でも有効に活用されているのか。

また、死生観に訴えた祈りの道という考え方は、今の時代にこそ射ているので、さらに深掘りした事業展開をすべきである。

道の駅「蓮如の里あわら」

市長 祈りの道協議会を発展させました「越前加賀インバウンド推進機構」においては、祈りの道協議会で築き上げた宗教文化資源を活かし、幅広く事業を実施しています。

島田 道の駅が単なる物販、飲食、情報案内や休憩だけの機能ではなく、公の施設としての役割を最大限に発揮することや、他ではまねのできない県境の地、吉崎ならではの道の駅となるには、指定管理制度を活用してどのような運営をするのか。

市長 吉崎地域が持つ自然・景観や歴史・文化、食・健康といった資源を活用した周遊滞在の拠点とし、かつ北潟湖や波松海岸の自然、北潟や波松地区の風力発電、細呂木地区の歴史遺産などと一体となった、あわら市北部を象徴する名所「吉崎」の拠点となる道の駅を目指したいと考えています。

島田 道の駅の運営で一番重要となる「駅長」を他の道の駅で研修させることも検討されたい。

道の駅をどんどん改善・進化させ、公の施設としての効果を最大限発揮できるよう祈りながら、私も一市民として協力していきたい。



島田 俊哉 議員

パートナーシップ制度

サニタリーボックス設置

デジタル障害者手帳

パートナーシップ制度

平野 パートナーシップ制度の導入について市長の考えは。

市長 県と連携しながら、先行自治体の越前市などを参考に、今年度中に要綱を制定し、来年度の制度導入を目指す考えです。

平野 デジタル障害者手帳(ミライロード)が行政窓口での本人確認書類にも利用を可能にし、設定支援も行うよう求める。

デジタル障害者手帳

平野 デジタル障害者手帳(ミライロード)が行政窓口での本人確認書類にも利用を可能にし、設定支援も行うよう求める。

サニタリーボックス設置

平野 公共施設の男子トイレに開閉がペダル式のサニタリーボックスを設置し、案内表示を施しているかどうか。

総務部理事 今後、市役所の各階に一箇所ずつ設置し、利用状況を見ていきます。他の施設は、利用者のニーズや状況によって、必要に応じて設置します。

健康福祉部長 アプリがマイナンバーと連携できることや写真入りであることなどから、本人確認書類として活用できる可能性があると思われる。行政窓口での負担軽減や利便性向上に向けた活用ができないか、まず情報収集と研究を進めたいと考えています。

また、ミライロードアプリの設定で不安のある方につきましては、市役所窓口での設定支援も行つてまいりたいと考えています。



平野 時夫 議員

健康福祉部長 市内事業者に同アプリに関する情報提供を行います。



・学校と保護者を繋ぐ 利便性の向上について ・お土産品開発など、ソフト事業 の状況と支援策について

学校と保護者を繋ぐ利便性の向上について

青柳 現在の学校と保護者との連絡ツールはあるのか。

また、今後はスマートフォンを中心とした連絡体系が予想されるが、取り組みの状況と今後の方針はどうか。

教育部長 現在は電話が中心ですが、来年1月より県教育委員会のアプリが利用可能になります。本市教育委員会でも、このアプリを導入し普及に努めていきます。

青柳 アプリ、電話、ホームページ、紙によるお便りなどを複数用いることによって、今以上に報告、連絡、相談や、学校

にいる子どもたちの様子をより多く届け、家庭との連携を図ってほしい。

また、ホームページは時代に合わせた早急なバージョンアップを提案する。

連絡



お土産品開発など、ソフト事業の状況と支援策について

青柳 名物・お土産品などの開発や磨き上げが進んでいない状況が見受けられるが、この状況を把握しているか。

また、今後、支援や後押しをする計画はあるのか。

青柳 篤始 議員



市長 お土産などの開発や磨き上げについては、まだまだ物足りなさを感じております。

今後は、実証実験の結果も踏まえ、商品開発アドバイザーの下であわらブランドを確立し、旅の目的となり得るような新たな目玉商品の開発と、そのPR活動を市内事業者と伴走しながら強力に推進します。

青柳 お土産品開発などのソフト面でありとあらゆる方策を模索検討し、一日も早い行動をお願いする。



・あわら市の今後の 観光戦略について

室谷 陽一郎 議員



室谷 2019年に策定されたあわら市観光振興戦略について、今後どのように推進するのか。

市長 道の駅「蓮如の里あわら」の整備や、北潟湖周辺のサイクリングロードの再整備、温泉街の空き地や廃旅館への対応など、今後取り組むべき重要課題について優先順位や費用対効果を鑑みて戦略の推進を図ります。

室谷 北陸新幹線開業に向けての市民の機運醸成をどのように行っていくのか。

市長 開業2年前、1年半前の節目にイベントを実施し、また来年3月19日には、芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」の

こけら落としを兼ねた、開業1年前イベントを行う予定です。

さらに駅周辺や温泉街にフラッグや看板、カウントダウンボード等を設置します。

室谷 観光客の移動の利便性を高め、周遊を促す二次交通の充実をどのように図るのか。

市長 市が取り組んでいる二次交通の「あわらぐるっとバス」は、土日祝日の1日5便運行で、利用者は年間約400人と伸び悩んでおり、今年度で廃止する方向です。

また、「あわらぐるっとタクシー」は、配車予約制のため、今後はその場で乗車できる仕組みや料金の見直しを含め、来年度当初からの制度改正

の検討を行っております。

室谷 あわら市と坂井市との連携、近隣市町との広域連携をどのように推進しているか。

市長 坂井・あわらエリア周遊滞在型観光の枠組みで、がけつづちりゾートの周遊チケット販売や、あわら温泉・永平寺・東尋坊直行バスの運行を行っております。坂井市・勝山市・永平寺町・加賀市の5市町で「越前加賀インバウンド推進機構」を組織し、越前加賀エリアの魅力PRに取り組んでいます。

室谷 もっとダイナミックな観光戦略を推進するために、坂井市・近隣市町とのさらなる連携を求めます。

・北陸新幹線芦原温泉駅に「かがやき」の停車を 求める陳情について

笹原 幸信 議員



笹原 JR芦原温泉駅

に「かがやき」を停車させることについてこれまでどのような対応をしてきたのか。

また、時間が無い中、今後どの様に対応されるのか。

市長 芦原温泉駅に「かがやき」が停車する重要性は十分に認識しています。市では平成29年度から県に「かがやき」の停車に向けた要望を行ってきたところです。JR西日本へは芦原温泉駅に「かがやき」を停車させるメリットを売り込んでまいりたいと考えています。

笹原 「かがやき」を朝夕上下一本ずつでも停車できるように願いたい。

市長 現時点において芦

原温泉駅に停車する可能性は決して高いとは言えません。

その理由は「かがやき」の定期便は上野と大宮、そして県庁所在地以外の駅には停車していないこと、また、芦原温泉駅は福井駅から特急で10分と近距離であること、及び「かがやき」は速達性を最も重要視していることです。

それでも朝夕一本でも停車させたいと強く思っており、可能な限り「かがやき」の停車活動を行ってまいりたいと考えています。

笹原 「かがやき」停車に向け近隣市町の首長や各市町各界各層を巻き込まないといけないと思うが、あわら市自体盛

り上がりを感ぜない。

市長 盛り上がりにはまだ勢いに欠けていますが、坂井市、永平寺町、勝山市などと広域的な各種施策を進めており、「かがやき」が停車することによりさらに効果が大きいことは各首長も認識されており、共同で要望を行うなど働きかけを進めて行きたいと考えています。

笹原 市長が先頭に立って動かれるのであれば、あわら市議会・坂井市議会友好交流議員連盟も一体となって、市長、理事者と共に活動をしていくように議連に働きかけたいと思っている。

三上 市民がまちの課題を解決し、活発に活動するために現在提供されている仕組みを教えてください。

市長 他市町の制度も

・市民がまちの課題を解決し、 活発に活動するための 仕組みづくりについて

三上 寛了 議員



三上 市民がまちの課題を解決し、活発に活動するために現在提供されている仕組みを教えてください。

市長 創造戦略部市民協働課が窓口となり、市民主体のまちづくり活動の促進と、まちづくり団体の育成を目的とした支援として、市民活動サポート助成金事業を実施しています。

また、幅広く市民活動を促進するため、民間事業者と連携して助成金事業合同説明会を開催しています。

三上 各団体の活動段階に応じた様々な支援が必要だと思うが、今後の仕組みづくりの方針について考えを聞きたい。

市長 他市町の制度も

参考にしながら、各団体がより利用しやすく、モチベーションが上がるような制度設計を検討していきます。

また、助成金などの財政的支援だけでなく、様々な支援を包括的に提供できる伴走型の仕組みづくりも必要だと考えています。例としてワンストップ相談窓口やプッシュ型の情報配信、各団体や関係機関とのネットワークの構築を促進し、活動の活性化を後押しする仕組みづくりなどを検討しています。

財政的支援の拡充と伴走的支援の充実を両輪として、ますます市民の活動意欲が高まり、やりがいや生きがいを持って生き生きと活動でき

る仕組みづくりを検討していきたくと考えています。

三上 私たち市民が今望むのは、何かを与えられることではなく、一緒にまちをつくっていくことであり、市役所や他の市民と協働できる仕組みとそれを実現する熱意を見せてほしい。ぜひよろしくお願したい。



・学校給食無償化早期実施を ・金津創作の森を市民の文化芸術 活動を育成する拠点に

学校給食無償化
早期実施を

山川 市長選で公約した
小中学校の給食無償化
はいつから実施するのか。

市長 9月より給食費
を半額にし、次年度以降
も継続したいと考えてい
ます。

完全無償化について
は、財政状況や近隣市町
の実施状況などを総合
的に勘案したうえで判断
したいと考えています。

山川 公約は給食費無
償化であり、半額で済ま
すのは公約違反ではない
か。

駅周辺整備や吉崎の
道の駅建設など大型公
共事業よりも、市民の暮
らし、福祉、子育てなどを
最優先にすべきである。

金津創作の森を市
民の文化芸術活動
を育成する拠点に

山川 創作の森美術館
は、市民の文化芸術活動
を支援、育成する役割を
持っていると考えているが、
最近の企画展の内容は
ずれているのではないか。

また、創作の森の運営
に関して、入居している
作家の意見は反映され
ているのか。

教育長 金津創作の森
は、市民の教育及び芸術
文化の向上を図ること
を目的に、平成11年に設
置されました。金津創作

の森財団では、市民の文
化芸術の向上に資する
ものであるかとの観点の
もと、時代の潮流や入館
者アンケートなどを参考

山川知一郎 議員



に調査し、企画展の内容
を検討しています。

年2回の理事会で財
団の業務執行等を決定
していますが、入居作家
から1名の方が理事と
なっており、意見をいた
だいています。

2、3年に1回の頻度
で、「森の作家展」とし
て、入居作家による企画
展を開催しています。

山川 入居作家や、市内
で活動されている作家な
どを取り上げて、市民に
知らせていくことにも力
を入れてほしい。



請願・陳情 意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●地方財政の充実・強化に関する意見書採択について

提出者 自治労福井県本部 執行委員長 大嶋 智
結果 採択

議員発議

※あわら市議会会議規則第14条において、議員は各種要件により議案を提出することができます。

●地方財政の充実・強化に関する意見書

趣旨 地方公共団体は、急激な少子高齢化の進展に伴う子育て、医療、介護など社会保障制度の整備、また、人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化を目指した環境対策、あるいは行政のデジタル化推進など、より新しく、かつ極めて多岐にわたる役割が求められる。そのため、地方財政の検討に当たっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、その対策を政府に求めるもの。

結果 採択

編集後記

私事で恐縮ですが、元気に過ごしていた実家の長兄(90)が、8月末に新型コロナウイルスに感染してしまい、受け入れ先が見つからないまま待機。治療を待たずして、急逝したことが悔やまれてなりません。恐るべし！コロナ！油断大敵！です。

ところで、連日、猛暑日に悩まされた今夏も、お盆を境に爽りの秋へと足早に突入し、気温も一挙に下がりました。その日、八甲田山の初冠雪の便りに納得です。

さて、9月定例会から本格的にタブレットを導入し、ペーパーレス化がスタートしました。

団塊最後の世代である小生は、とまどいと冷や汗をかきながらも、若手や先輩議員、事務局のサポートを得ながら取り組んでおります。スキルアップを図り議員活動に生かして参ります。

(平野)

令和4年9月 第113回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 △…棄権 —…欠席等 ※議長(山田 重喜)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	三上 寛了	青柳 篤始	島田 俊哉	木下 勇二	北浦 博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	山田 重喜	八木 秀雄	笹原 幸信	山川知一郎	北島 登	卯目ひろみ
市 長 提 出	令和3年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	○
	令和3年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	○
	令和3年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	○
	令和3年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和3年度あわら市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和3年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和3年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和3年度あわら市水道事業会計剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和3年度あわら市公共下水道事業会計剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和4年度あわら市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和4年度あわら市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和4年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	あわら市議会議員及びあわら市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	あわら市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	あわら市過疎地域の持続的発展に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	道の駅蓮如の里あわら条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉駅西口賑わい施設条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	/
令和4年度あわら市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
陳情	地方財政の充実・強化に関する意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	
発議	地方財政の充実・強化に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	

発行・編集責任者

議長/山田 重喜

市議会広報編集特別委員会

委員長/卯目 ひろみ

委員/三上 寛了

委員/木下 勇二

委員/平野 時夫

副委員長/北浦 博憲

委員/青柳 篤始

委員/室谷 陽一郎

市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。
ご意見、ご感想をお寄せください。

発行／あわら市議会
編集／あわら市議会広報編集特別委員会

〒910-0691 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局
TEL 077-677-1805(直通) E-Mail: gikai@city.awara.lg.jp

あわら市議会政務活動費の交付に関する条例(案)

パブリックコメント 募集!

地方分権の進展に伴い、地方公共団体の自己決定権、自己責任が拡大するなかで、地方議会が担う役割はますます重要なものとなっています。さらに地域の課題把握や情報収集に努め、政策提言・政策立案を行うためには、その調査及び審議能力を強化していくことが求められています。

このことから、調査研究活動基盤の充実を図ることで、議員個人の資質向上や、議会の機能強化を推進することを目指し、あわら市議会では政務活動費を交付したいと考えています。

市民の皆様から広く意見を求めるため、下記のとおりパブリックコメントを募集します。

案件名 あわら市議会政務活動費の交付に関する条例(案)

内容 地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員一人につき年額36万円以内の活動費を実績に基づき、後払いで交付するものです。

募集期間 11月21日(月)～12月20日(火)まで

閲覧方法 募集期間内に市議会のホームページまたは次の場所で閲覧することができます。
議会事務局、市民課芦原分室

提出方法 募集期間内に、直接持参や郵送(〒919-0692 あわら市市姫三丁目1番1号)、ファックス、メールで、ご意見をお寄せください。
その際、住所、氏名および連絡先を明記してください。

問合せ 議会事務局 Tel 73-8045 Fax 73-1222

※詳しくは右のQRコードより
ホームページをご覧ください。

募集中!



政務活動費とは...

地方議会の議員に政策調査研究等の活動のために支給される費用です。

政務活動費の詳細は、各自治体の条例により定められていて、議会の会派又は議員に対して支給されます。

交付額や交付方法については、自治体により異なります。

例えば!

新聞、専門書誌等の購入費用や民間主催の議員研修会に参加するための費用などに使われています。

